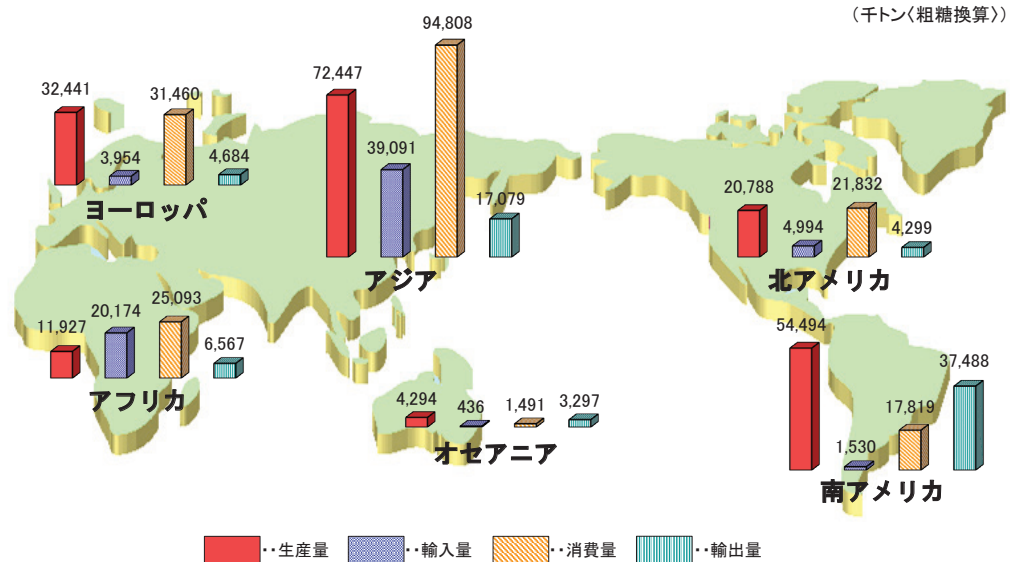


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2024年9月時点予測）

図 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2024」
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

（単位：千トン〈粗糖換算〉、％）

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	48,887	116,773	31,802	112,814	32,521	52,126	46.2
1999/00	68,592	133,221	36,600	127,777	39,788	70,848	55.4
2004/05	71,495	144,294	47,126	146,602	50,697	65,615	44.8
2009/10	64,724	159,790	55,848	164,415	55,989	59,959	36.5
2014/15	75,460	183,101	60,913	177,018	62,434	80,022	45.2
2019/20	89,771	181,819	69,502	182,713	71,584	86,796	47.5
2020/21	86,796	181,921	66,808	185,150	68,007	82,367	44.5
2021/22	82,367	186,153	69,410	188,439	71,223	78,268	41.5
2022/23	78,268	190,908	70,896	190,199	71,493	78,381	41.2
2023/24	78,381	195,764	75,660	192,131	76,898	80,776	42.0
2024/25 (2024年9月予測)	80,776	196,391	70,180	192,504	73,415	81,428	42.3

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2024」
 注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。
 注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。
 注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2025年1月号の掲載となります。直近の内容は2024年10月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003203.html

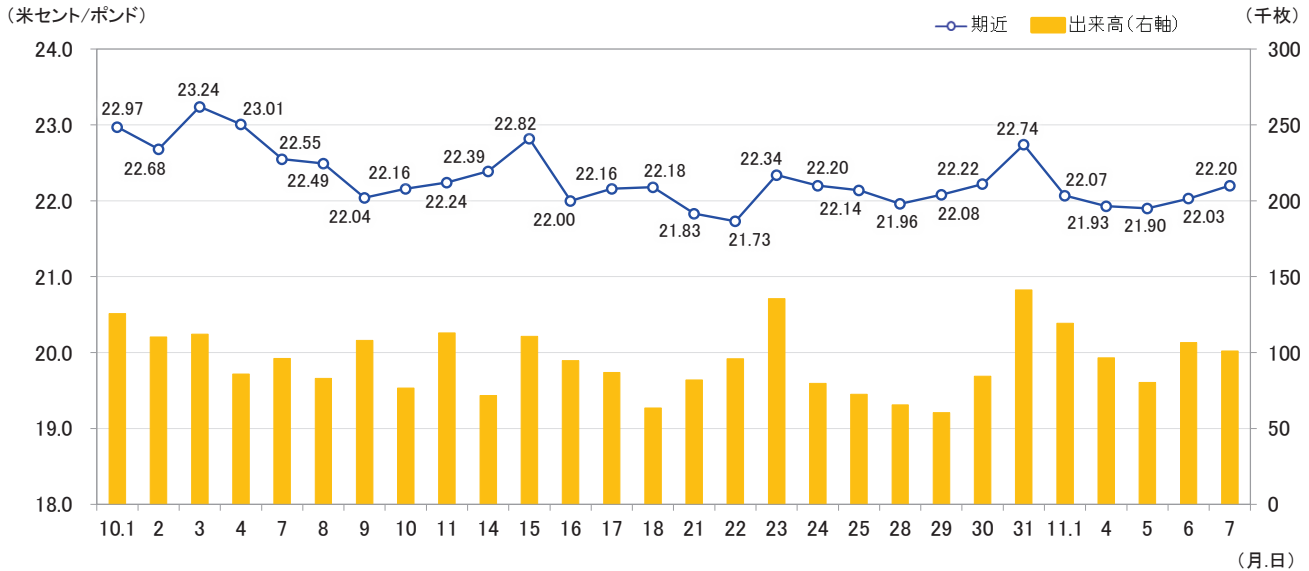
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003204.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（10/1～11/7）

～10月はレアル安やブラジルの降雨予報により緩やかに下落～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近3月限の値。

2024年10月のニューヨーク粗糖先物相場（3月限）の推移を見ると、1日は原油高（注1）により1ポンド当たり22.97セント（注2）と前取引日から上昇したものの、2日はブラジルの降雨予報で干ばつの懸念が和らいだことにより、同22.68セントと値を下げた。3日は原油高により上昇したが、4日以降はレアル安（注3）とブラジルの降雨予報などで下落に転じ、9日には同22.04セントとなった。10日以降は原油高およびブラジル産砂糖の生産量減少を受け、15日には同22.82セントまで上昇した。16日以降はブラジルの降雨予報やレアル安などから下落基調となり、22日は同21.73セントをつけた。23日は世界有数の製糖企業が25年前半にブラジル産砂糖が減産との見通しを発表したことで急激な上昇を見せたが、24日以降はブラジルサトウキビ産業協会（UNICA）が中南部地域の砂糖増産を発表したことで緩やかに下落し、28日には同

21.96セントとなった。29日以降はブラジルの大雨予報によるサトウキビの収穫遅れの懸念から、31日には同22.74セントまで上昇した。

11月に入ると、1日以降はレアル安やブラジルの降雨予報で下落したものの、5日以降はレアル高により緩やかに上昇し、7日には同22.20セントまで回復した。

（注1）一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの度合いが小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

（注2）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

(注3) 粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国

ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向(2024年11月時点予測)

ブラジル

2024/25年度(4月~翌3月)の見通し

【サトウキビ】 収穫面積：876万ha(前年度比4.2%増) 生産量：6億6450万トン(同6.8%減)	【砂糖(甘しゅ糖)】 生産量：4582万トン(同7.1%減) 輸出量：3551万トン(同5.8%減)
---	---

2024/25年度のサトウキビ生産量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度(4月~翌3月)のサトウキビ収穫面積は、876万ヘクタール(前年度比4.2%増)とやや増加が見込まれている(表)。一方、サトウキビ生産量は、主産地である中南部地域の干ばつや森林火災の影響を受け、6億6450万トン(同6.8%減)とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、10月前半までの中南部地域の累

計生産量は前年を上回って推移しているものの、干ばつや森林火災により今後の収穫量減少が予想され、4582万トン(同7.1%減)とかなりの程度減少が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産砂糖の輸出制限から、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖の堅調な需要が期待されるものの、減産を背景に3551万トン(同5.8%減)とやや減少が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

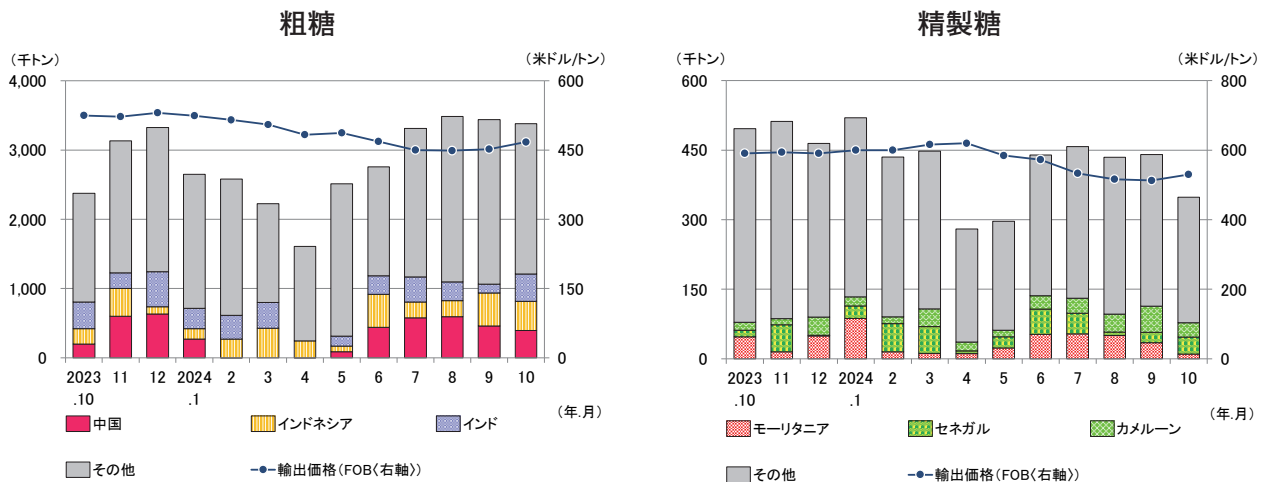
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (10月予測)	2024/25 (11月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	8,672	8,421	8,408	8,725	8,760	4.2%
サトウキビ生産量	576,707	606,676	713,134	660,002	664,500	▲ 6.8%
砂糖	生産量	37,600	39,700	49,320	45,820	▲ 7.1%
	輸入量	5	2	5	4	▲ 22.0%
	消費量	10,712	10,769	10,800	10,800	0.0%
	輸出量	27,093	28,985	37,677	35,511	▲ 5.8%
	期末在庫量	3,533	3,481	4,329	3,842	▲ 11.2%
	期末在庫率	9.3	8.8	8.9	8.3	8.3

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



インド

2024/25年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 517万ha (前年度比6.8%減)
 生産量: 4億2642万トン (同4.1%減)

【砂糖 (甘しや糖)】

生産量: 3132万トン (同9.7%減)
 輸出量: 332万トン (同19.4%減)

2024/25年度の砂糖輸出量は大幅に減少する見込み

2024/25年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、517万ヘクタール (前年度比6.8%減) とかなりの程度減少が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、モンスーンにより十分な雨量は確保できたものの、収穫面積の減少により、4億2642万トン (同4.1%減) とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、インド政府が製糖工場でのサトウキビ由来のエタノール生産制限を解除したことなど

から、3132万トン (同9.7%減) とかなりの程度減少が見込まれている。インド砂糖・バイオエネルギー製造業者協会 (ISMA) による11月時点の推計によると、主産地であるウツタル・プラデーシュ州およびカルナータカ州での生産量は前年度並みとなるものの、同じく主産地であるマハラシュトラ州では減産が見込まれている。砂糖輸出量は、輸出制限の継続やサトウキビ由来のエタノール生産解禁により、332万トン (同19.4%減) と大幅な減少が見込まれている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

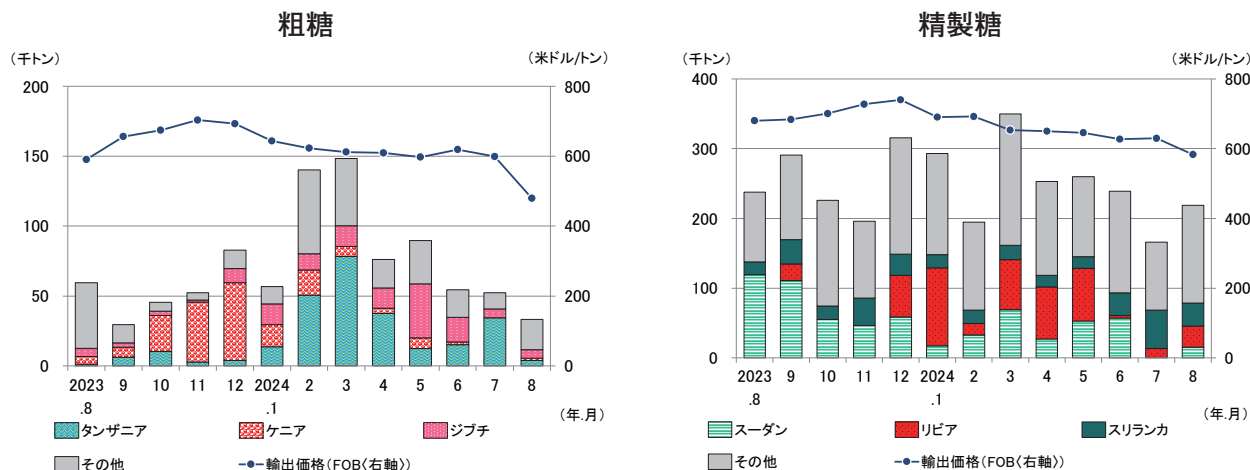
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (10月予測)	2024/25 (11月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,549	5,172	5,172	▲ 6.8%
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,740	426,423	426,423	▲ 4.1%
砂糖	生産量	38,559	35,389	34,677	31,323	▲ 9.7%
	輸入量	427	1,687	3,084	2,552	▲ 17.3%
	消費量	29,516	30,078	31,320	31,968	2.1%
	輸出量	12,468	8,646	4,115	3,319	▲ 19.4%
	期末在庫量	6,472	4,824	7,150	5,738	▲ 19.7%
	期末在庫率	15.4	12.5	20.2	16.3	16.3

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

E U

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：156万ha（前年度比11.7%増）

生産量：1億1514万トン（同15.4%増）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1771万トン（同14.4%増）

輸出量：219万トン（同3.8倍）

2024/25年度の砂糖輸出量は砂糖の増産を背景に大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に各国で増加が見込まれることから、156万ヘクタール（前年度比11.7%増）とかなり大きく増加が見込まれている(表)。てん菜生産量は、

収穫面積の増加により、1億1514万トン（同15.4%増）とかなり大きく増加が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜の増産と主産地での単収増加を背景に1771万トン（同14.4%増）とかなり大きく増加が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産を背景に219万トン（同3.8倍）と大幅な増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (10月予測)	2024/25 (11月予測)	前年度比 (増減率)	
てん菜収穫面積	1,474	1,454	1,398	1,562	1,561	11.7%	
てん菜生産量	98,500	111,391	99,760	115,696	115,140	15.4%	
砂糖	生産量	14,962	17,397	15,480	17,810	17,705	14.4%
	輸入量	1,888	2,144	3,267	1,328	1,328	▲59.3%
	消費量	16,609	17,970	17,238	16,906	16,903	▲1.9%
	輸出量	1,262	1,000	579	2,188	2,188	3.8倍
	期末在庫量	1,327	1,898	2,828	2,642	2,530	▲10.5%
	期末在庫率	7.4	10.0	15.9	13.8	13.3	2.6ポイント減

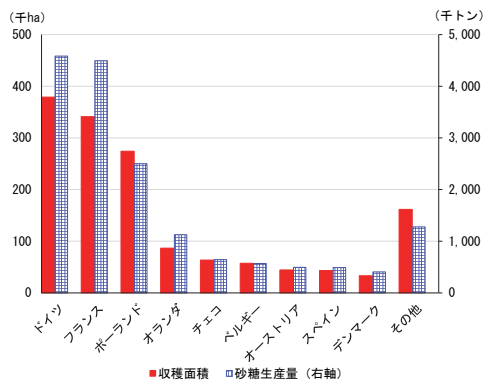
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

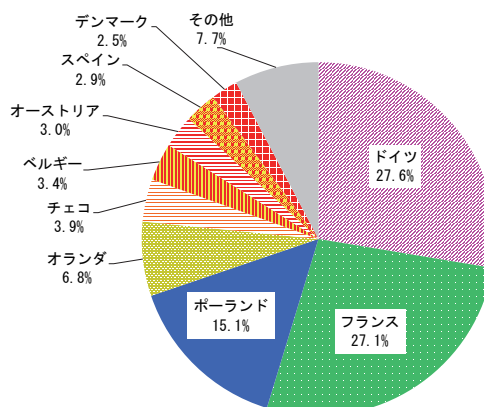
(参考) EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し (2024/25年度) (2024年9月時点)

砂糖生産量



資料：欧州委員会
注1：精製糖換算
注2：数値は予測値。

国別生産割合



資料：欧州委員会

4 日本の主要輸入先の動向 (2024年11月時点予測)

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2023年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が91.6%（前年比0.8ポイント増）、タイが8.4%（同0.9ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：34万ha（前年度比0.2%減）
生産量：3008万トン（同1.1%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：407万トン（同1.5%減）
輸出量：307万トン（同8.5%減）

2024/25年度の砂糖輸出量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、34万ヘクタール（前年度比0.2%減）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、8月の豪雨と豪州最大の精糖企業で発生したストライキにより収穫が遅れているものの、生育は順調に進んだことから、3008万トン（同1.1%増）

とわずかに増加が見込まれている。

砂糖生産量は、8月の豪雨による収穫遅れがサトウキビの精度低下を招く可能性があることから、407万トン（同1.5%減）とわずかに減少が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域を中心に需要の伸びが引き続き期待されるものの、砂糖の減産見込みにより、307万トン（同8.5%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

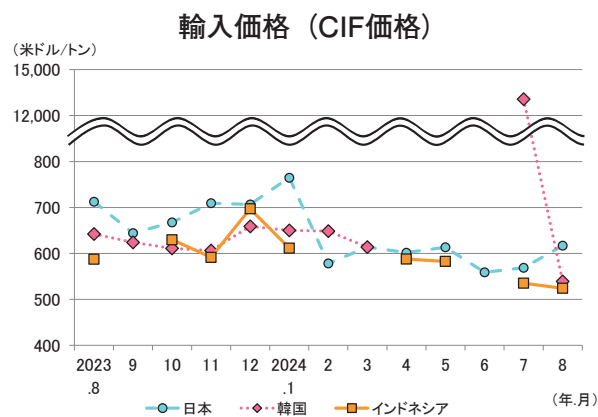
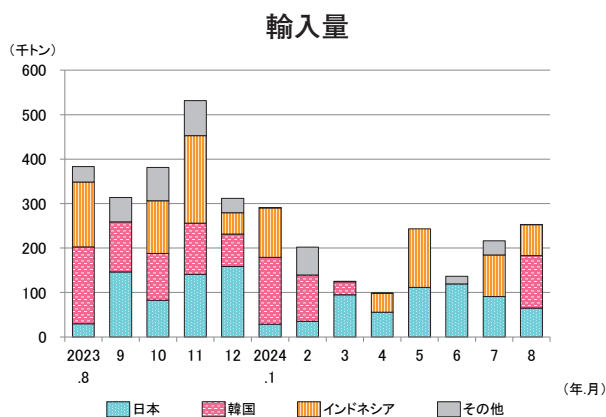
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (10月予測)	2024/25 (11月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	343	328	341	340	340	▲0.2%
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,757	30,319	30,079	1.1%
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,128	4,097	▲1.5%
	輸入量	9	8	10	11	15.1%
	消費量	1,037	1,033	1,030	1,038	0.7%
	輸出量	3,453	2,942	3,356	3,070	▲8.5%
	期末在庫量	777	1,107	858	859	▲3.7%
	期末在庫率	17.3	27.8	19.6	20.9	20.1

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2024」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

そのほかは上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：インドネシアの2023年9月、24年2月、3月、6月の輸入量は実績なし。

注5：韓国の2024年4月、5月、6月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）
生産量：9800万トン（同19.3%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1169万トン（同25.5%増）
輸出量：865万トン（同45.6%増）

2024/25年度の砂糖生産量はサトウキビの増産により大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件のもと、9800万トン（同19.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、23/24年度のサトウキビの減産と

CCS^(注)の低下による減産の反動から1169万トン（同25.5%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に865万トン（同45.6%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (10月予測)	2024/25 (11月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,518	1,670	1,670	10.0%
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	98,000	98,000	19.3%
砂糖	生産量	10,643	11,682	9,316	11,691	25.5%
	輸入量	148	317	180	180	0.0%
	消費量	3,424	3,348	3,186	3,219	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	5,943	8,652	45.6%
	期末在庫量	1,951	2,599	2,967	2,967	▲ 0.0%
	期末在庫率	17.3	22.9	32.5	25.0	25.0

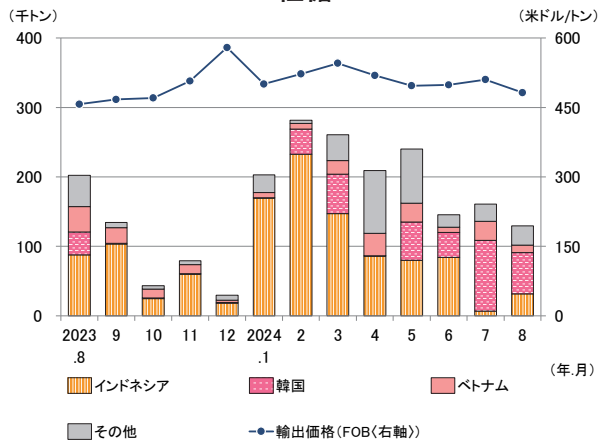
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

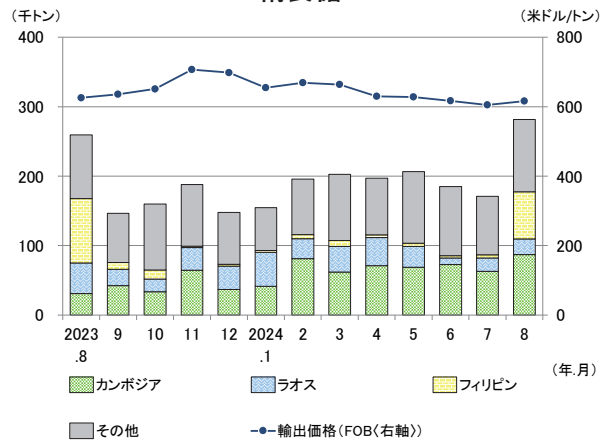
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。